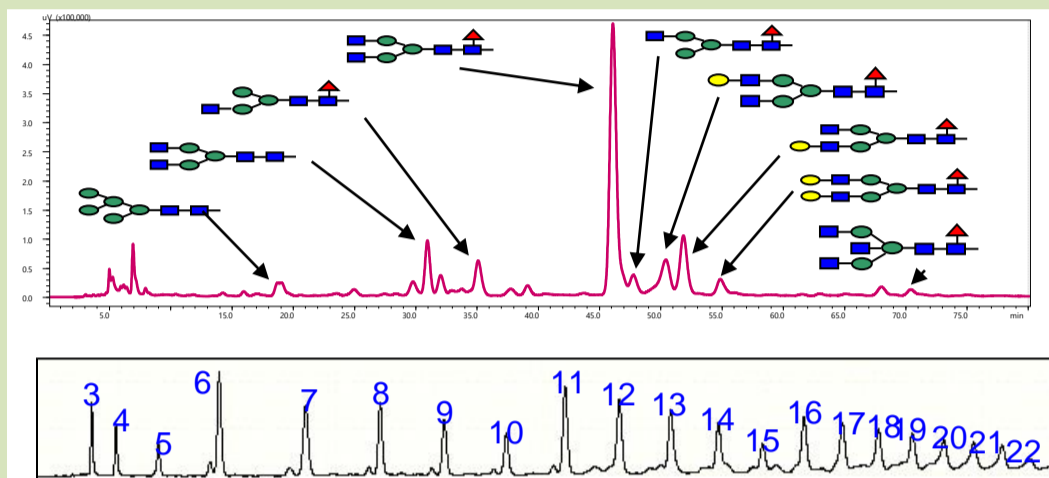


分析の流れ

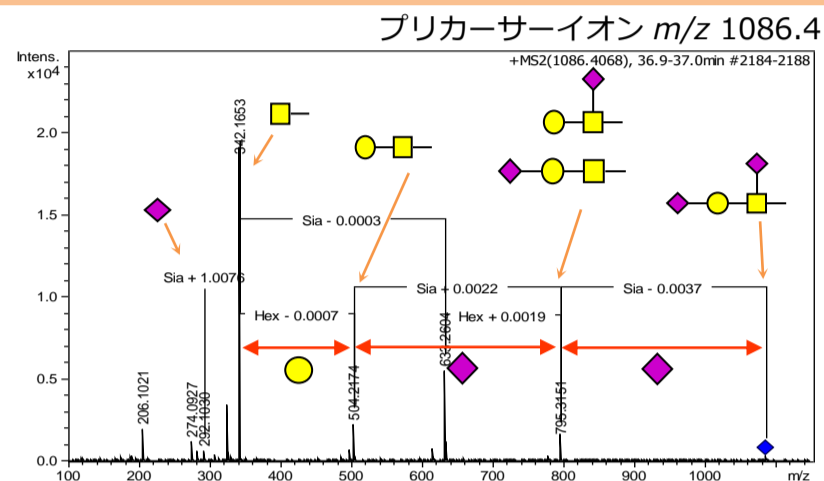


標準品との比較による構造の推定



蛍光検出のピークの保持時間をグルコースオリゴマーと比較することで構造を推定します

MS/MSによる構造確認



プリカーサーイオンから推定した構造をプロダクトイオンで裏付けできます

蛍光検出、MS解析を組み合わせて、構造推定や含量比算出などが可能です

ご報告の内容

基本的な内容

- 糖鎖構造の一覧表
- クロマトグラム (蛍光・UV・TIC) 一覧表の例 (枝分かれ構造も記載)

Peak area ratio	Composition	Name
70%	Hex ₃ HexNAc ₄	G0F
2%	Hex ₄ HexNAc ₄ Fuc ₁	G1F[6]

オプション

- 任意の糖鎖のMS/MSスペクトル
- 構成糖の結合様式の解析 (メチル化分析法)
- 糖鎖結合位置解析
- 糖組成分析

分析に必要な情報

- 試料数
- タンパク質の分子量
- タンパク質濃度
- 予想される糖鎖の種類 (N型/O型など)
- 予想される糖鎖の構造
- 試料の形態 (粉末、液体など)
- 試料の溶媒 (又は可溶性溶媒)
- 試料に含まれる分析対象の純度
- 産生細胞 (バイオ医薬品の場合)

お問い合わせ先：株式会社 東レリサーチセンター (URL: <https://www.toray-research.co.jp/>)

お問い合わせフォーム：<https://www.toray-research.co.jp/contact/>

